



下仁田中学校だより

〔教育目標〕

愛する
考える
行

令和2年1月31日 第12号

群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田26番地

TEL 0274-82-2049 FAX 0274-82-2093

E-mail shimochu@shimonita-kyouiku.ed.jp

文責：校長 永井 尚寿

立 志 式

1月31日、本校2年生の立志式を行いました。式辞の中では次のような話をしました。

群馬県における初めての立志式は、昭和時代、統合前の旧下仁田中学校で行われました。昭和40年9月4日のことです。現在、68歳の方々が中学2年生の時のことです。

校長室に当時のアルバムがあり、実施要項がはさまれています。その概略です。

1 立志式の意義と必要性

人生にとって14歳ほど重要な年齢はない。社会的には、少年法の適用を受ける年齢になり15歳からは労働基準法によって一人の社会人として雇用関係に立つことが認められている。そして、いやおうなしに就職か進学かを決すべく迫られている。いわば人生の転機に立つ時でもある。

これからの時代を担う若者に、おのれの将来の方向を見定めさせ、また、その実現に向かうように励まし、その前途に祝福を与えられることは重大な意義をもつものである。

14才の中学生を明るく励ますとともに祝福し、その中で人生に一つの折り目をつけたい。

2 目標

「自覚」自己の行動を自覚し、責任感をもたせること。

「立志」次世代を背負う社会人として少なくとも何かの夢をもつように導くこと。

「健康」心身の健康について、改めて考えさせること。

今年の立志式の目標は、「今までの自分を振り返り、将来の自分の生き方について考える意欲を高める。」ことです。

立志は、「志」を立てると書きます。「志」の字の上の部は「行く」の意味で、下の部は「心」です。心がある方向をめざして行くことを意味しており、“こころざす”の意味となります。自分の将来についての方向を考えていく機会とすることが目標です。

「志あるところに道あり」という言葉があります。「意志があるところに道は開ける」という意味です。心がある方向を目指していくと、どんなに困難な道でも、それをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開ける という希望と勇気の湧く言葉です。「人民の、人民による、人民のための政治」という演説でも有名なアメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの言葉です。立志式を迎える皆さんが、将来自分の進もうとしている方向に足を踏み出す時、困難にぶつかって折れかけている時、思い出してもらいたい言葉です。

2年生の皆さんが一人一人将来に向かってしっかりと歩いていくことを祈念して結びとします。



下仁田町「ICTを活用した 授業実践」授業公開

1月21日、本校及び下仁田小学校それぞれ2クラスが、ICTを活用した授業実践として、タブレット等を活用しながら公開授業を行いました。本校は1年2組の理科、2年1組の体育の授業を公開しました。

また、その後双方の参加者には、本校食堂に会してもらい、両校のICT利活用についての報告を聞いていただいた後、下仁田町教委ICTアドバイザーの平井聡一郎先生による体験講座を受けてもらいました。学校や教育行政関係者合わせて約60名の参加があり、下仁田町が進めるICT教育を知っていただくよい機会となりました。

参加者からは、「日常的にICTを活用している様子がうかがえた。」という御意見がありました。一方、「本当にタブレット等が必要な授業であったかどうか。」という御意見もいただいております。タブレット等のICTをツール（道具）として有効に活用した授業力を高めていく必要性も感じています。職員と今後の研修に努めていきたいと思っています。



2月の予定

1日（土）	
2日（日）	吹奏楽部：かぶら吹奏楽祭
3日（月）	
4日（火）	生徒会朝礼 3年生公立高校前期出願
5日（水）	3年生公立高校前期出願 西部教育事務所年度末訪問
6日（木）	スクールカウンセラー来校日
7日（金）	
8日（土）	
9日（日）	
10日（月）	学校朝礼
11日（火）	建国記念の日
12日（水）	3年生公立高校前期選抜
13日（木）	3年生公立高校前期選抜
14日（金）	
15日（土）	
16日（日）	
17日（月）	
18日（火）	表彰朝礼
19日（水）	
20日（木）	3年生公立高校前期選抜発表 スクールカウンセラー来校日
21日（金）	
22日（土）	
23日（日）	天皇誕生日
24日（月）	振替休日
25日（火）	学年朝礼
26日（水）	1・2年生期末テスト 3年生公立高校後期出願
27日（木）	3年生公立高校後期出願
28日（金）	
29日（土）	

下中ギャラリー（立志の塔）

この塔の台座の裏側に、「揮毫 吉田 金蔵」「中学校創立四十周年を記念して之を建つ 昭和63年2月3日」とあります。

『下仁田東中学校 三十年のあゆみ』（平成7年11月発行）の中にある、当時のPTA会長 中島貞夫様の寄稿文によると「台座には2年生が立志にちなんだ将来の作文をタイムスリップで成人式に取り出し、現在の自分を見つめ直し将来にむかって大きく羽ばたいてもらいたい。台の上は中学生男女が力を合わせ将来の地球（世界）を支えてもらいたい。そんな希望を託しました。」と記述されています。

「羽ばたけ若人」の書は、立志式を始められた当時の校長 吉田金蔵氏によるものです。吉田校長は、旧下仁田中学校最後の、そして統合された下仁田東中学校の初代校長です。

今でも、立志式が行われた後にはこの塔に2年生の立志作文「成人した自分への手紙」を納入しています。そして、成人式を迎える年に手渡されています。今年も12日の成人式の日には6年前の2年生（5年前の卒業生）に、成人式の中で私から代表者へお渡ししました。

伝統ある本校の立志式に今でも貢献している塔となっています。

